

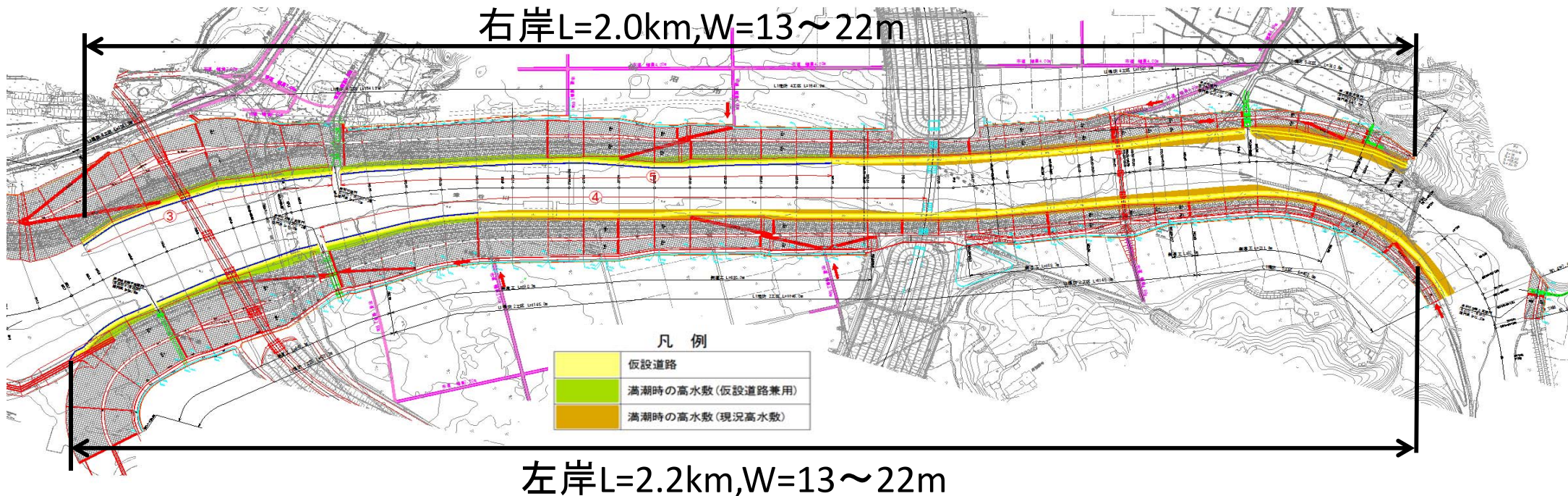


資料-2 要望事項に関する整備方針について



1. 高水敷整備方針（案）

・震災前の利用形態を確保するため、工事中仮設道路を存置し、全体で右岸約2.0km、左岸約2.2kmの連続した高水敷を整備する。

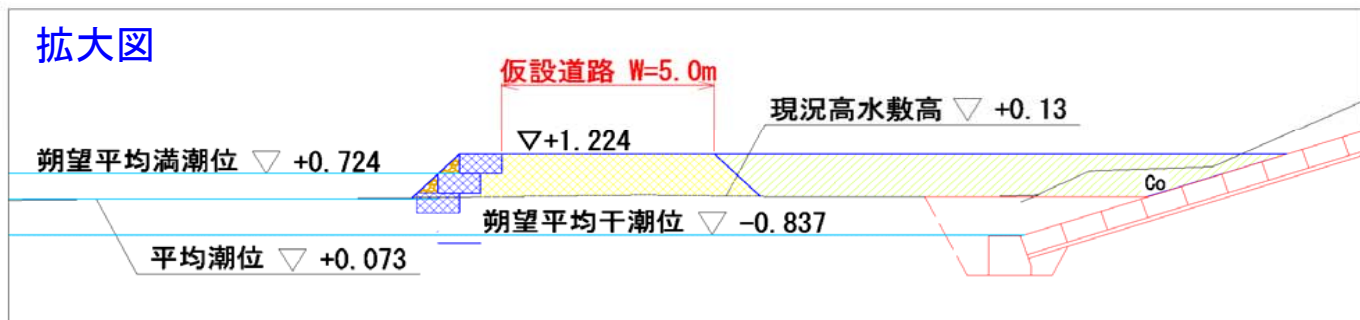
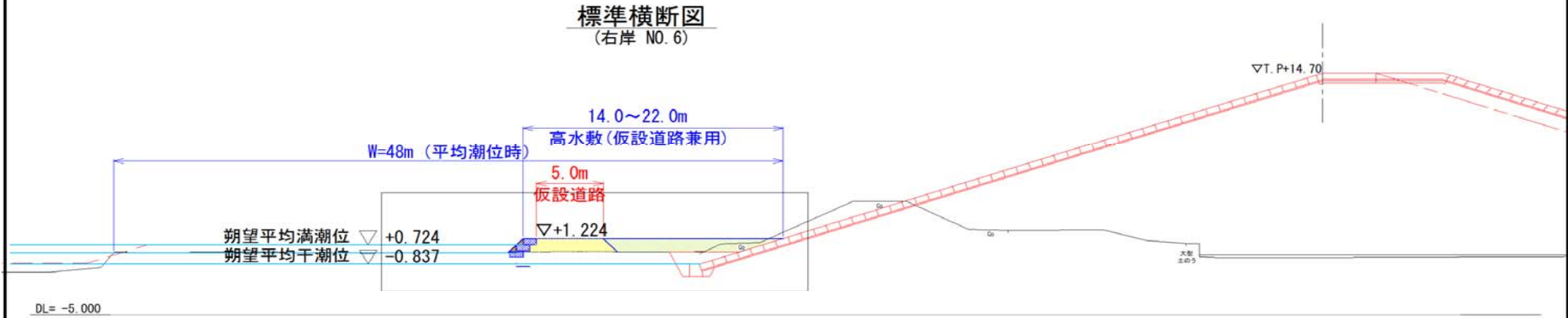


配慮事項

- ・施工前に底生動物を含めた環境調査を実施し、保全対策について検討する。
- ・仮設道路の施工時には希少種及び在来種の移植・保存等に配慮する。
- ・希少種にこだわらず「生物多様性」の確保に努める。

1. 高水敷整備方針（案） 右岸高水敷 標準断面図（参考）

高水敷③標準横断面図 S=1:150
(右岸 NO. 6)

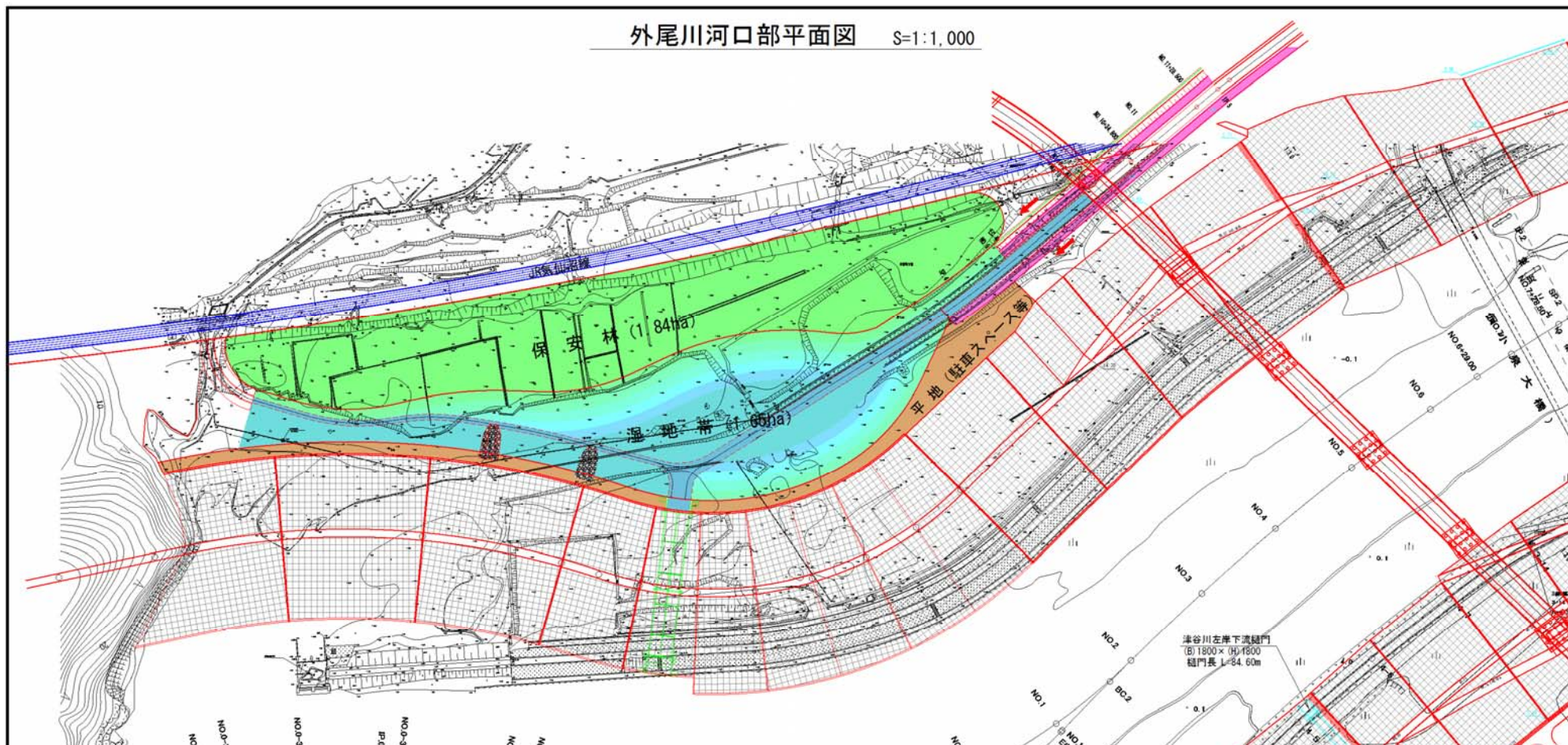


配慮事項

- ・カゴマットについては植生や底生生物等への配慮から覆土について検討する。
- ・低水路の利活用面を考慮した覆土なし(階段状整備)の区間も検討する。

平成 23 年度	関連番号
河川名	二級河川 津谷川
施工地名	気仙沼市本吉町中島地内
工事名	津谷川災害調査設計業務
高水敷③標準横断面図(右岸 NO. 6)	
縮尺	1:150 全業の内業
	設計 製図
宮	城 県

2. 外尾川河口整備方針（案）平面図



- ・津谷川右岸堤とJRの間を利用し、湿地帯及び保安林を整備し、震災前の環境に近づける。
- ・土砂の定期的な維持浚渫のため、捨石突堤も整備する。
- ・海岸堤防と一体的な曲線配置をなるよう堤防法線を工夫。

配慮事項

- ・施工前に底生動物を含めた環境調査を実施し、「生物多様性」を保全する方針とする。
- ・整備後のモニタリングを実施する。

23年度 関連策 号	
名	二級河川 津谷川
名	宮仙沼市木古町中島地内
名	津谷川災害調査設計業務
計画平面図(1/4)	
1:1000	全123葉の内1葉
設計	製図
宮	城 県

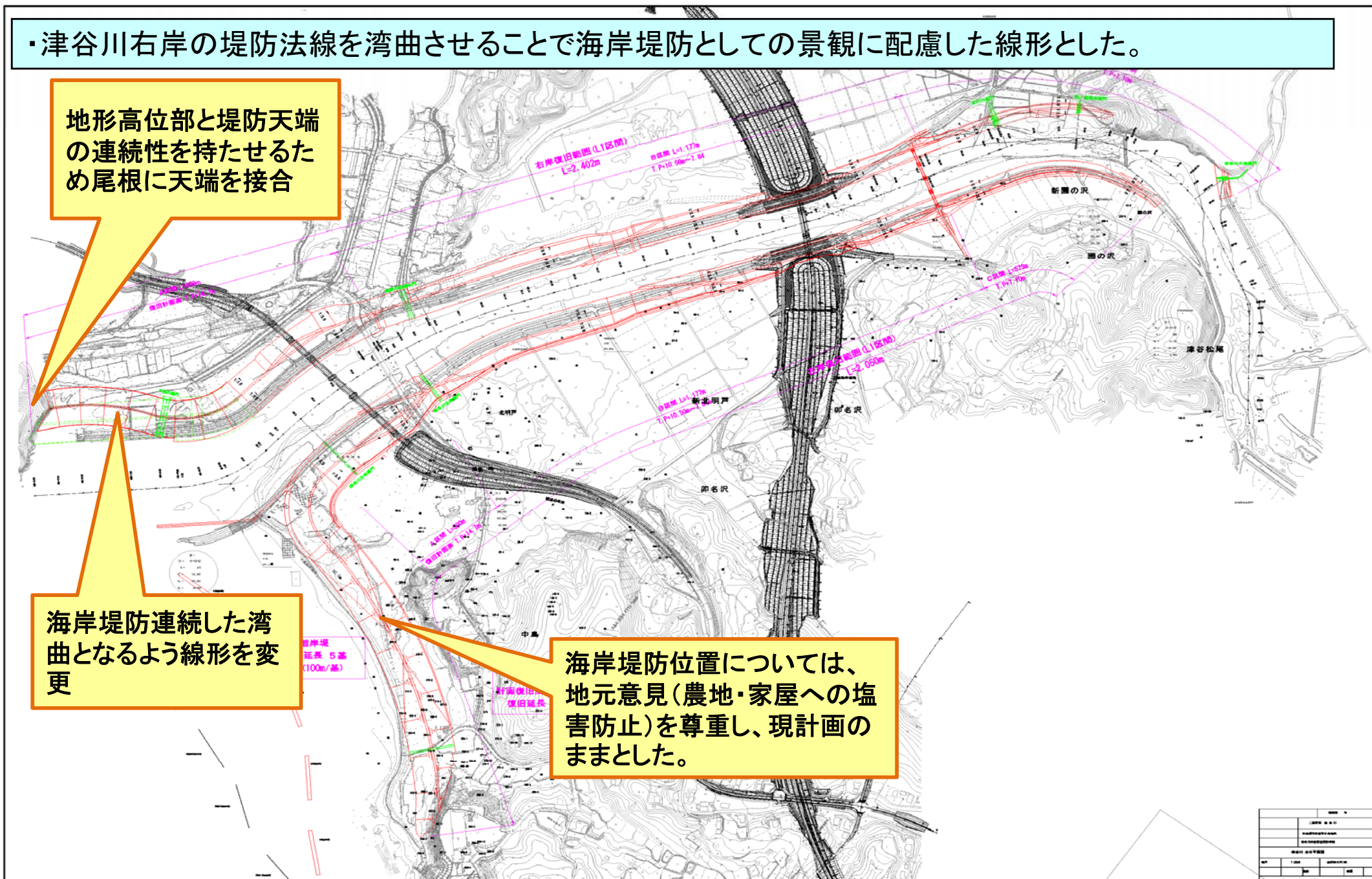
2. 外尾川河口部整備方針（案） 津谷川右岸堤防法線の微修正

・津谷川右岸の堤防法線を湾曲させることで海岸堤防としての景観に配慮した線形とした。

地形高位部と堤防天端の連続性を持たせるため尾根に天端を接合

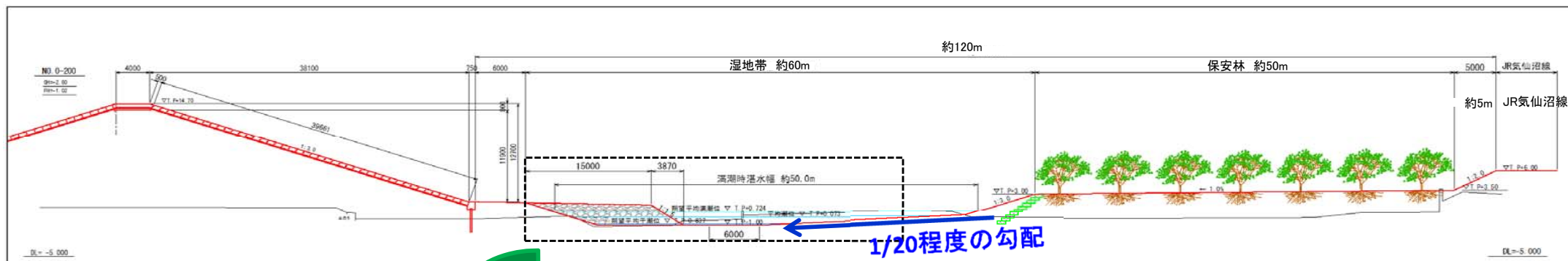
海岸堤防連続した湾曲となるよう線形を変更

海岸堤防位置については、地元意見（農地・家屋への塩害防止）を尊重し、現計画のままとした。

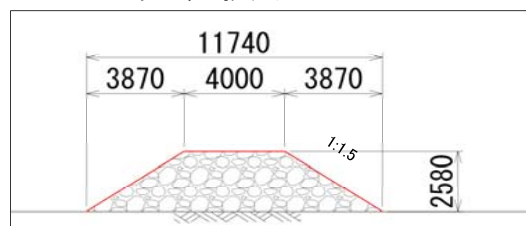


2. 外尾川河口部整備方針（案）断面図（参考）

- ・湿地帯の河床高は外尾川、平貝川の河床高より低く設定（T.P.-1.0m）。
- ・最深部から保安林側に緩やかな勾配（1/20程度）の傾斜を造成し湿地帯を整備する。
- ・流出土砂対策として、土砂止め作用を促す捨石突堤を整備する。



突堤横断面図



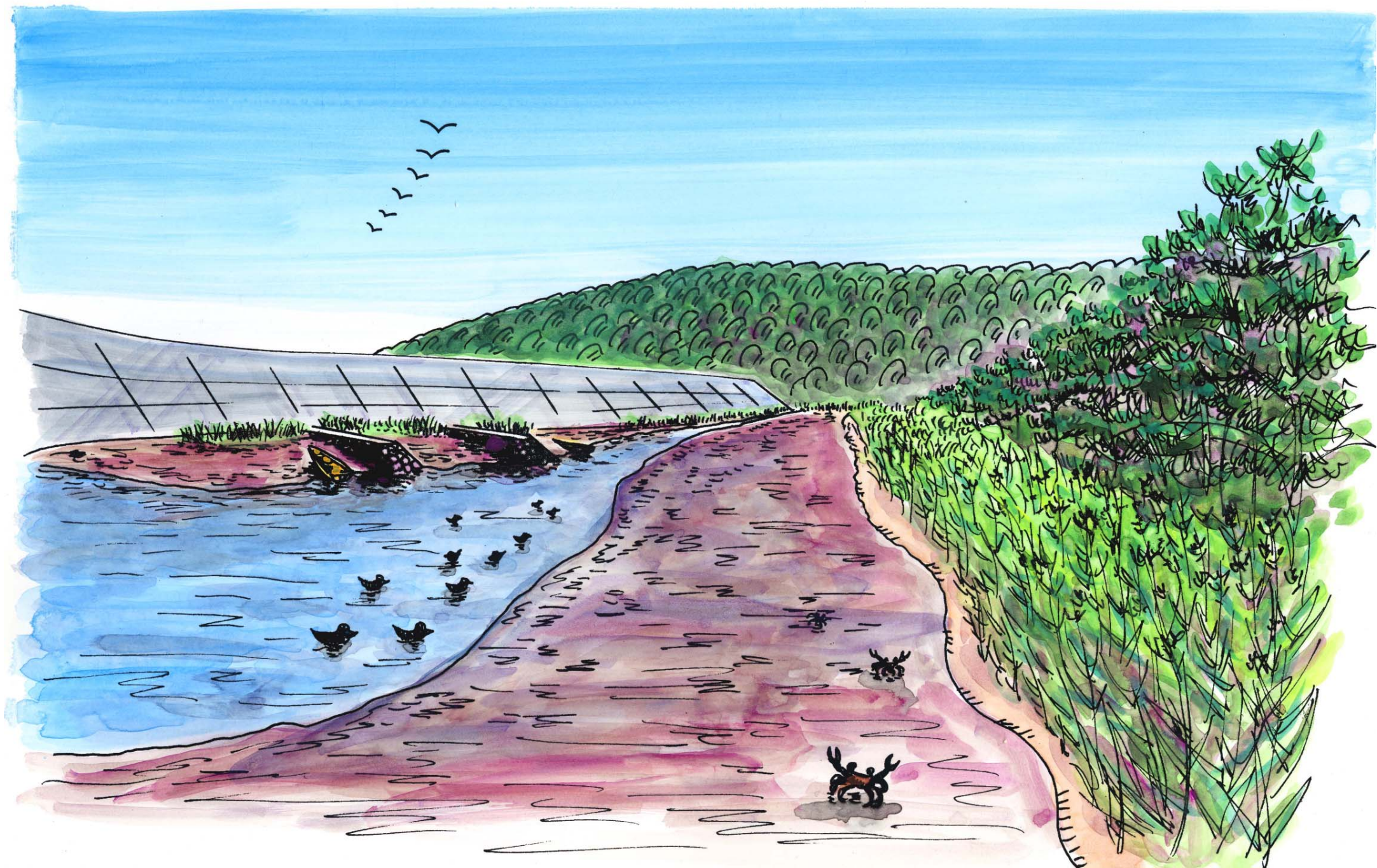
拡大図



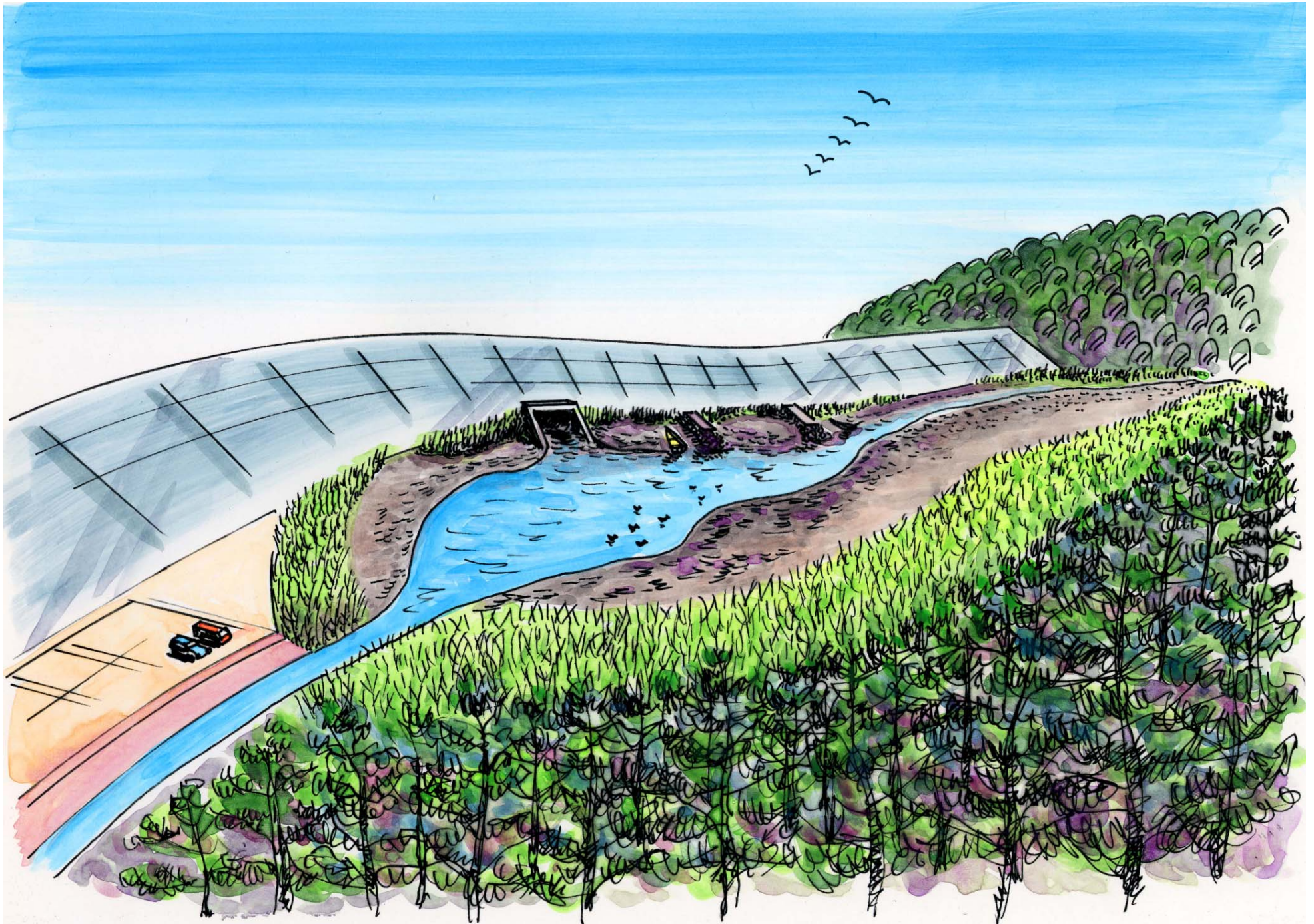
配慮事項

- ・湿地の形状は緩やかな斜面（1/20程度）とし、干潟の再生は自然の成り行きにまかせる。
- ・生物モニタリングを行い、「生物多様性」を目指す方針で整備する。

2. 外尾川河口整備方針（案）完成イメージ①（参考）



2. 外尾川河口整備方針（案）完成イメージ②（参考）



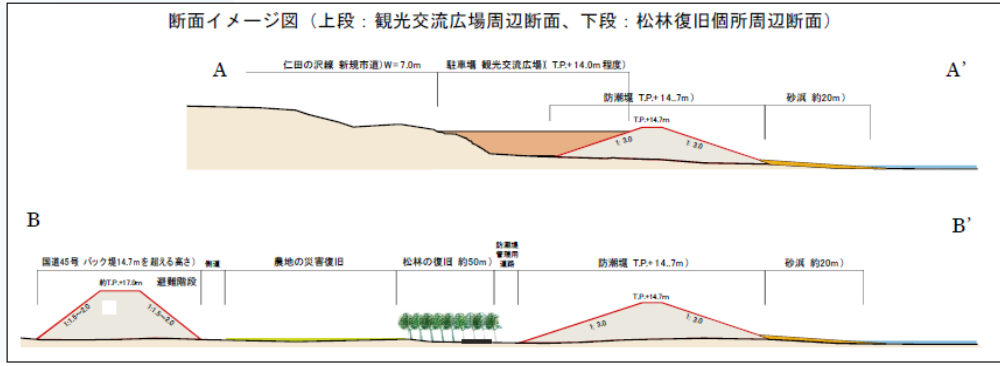
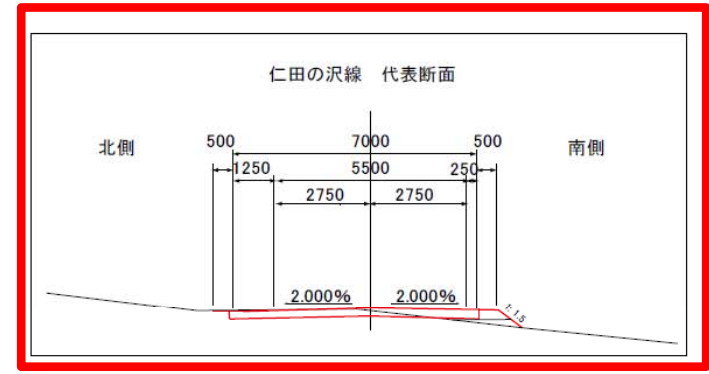
3. 海水浴場施設整備方針（案）周辺道路

海水浴場の整備(1) 周辺計画

・国道45号から2車線の市道を整備する。



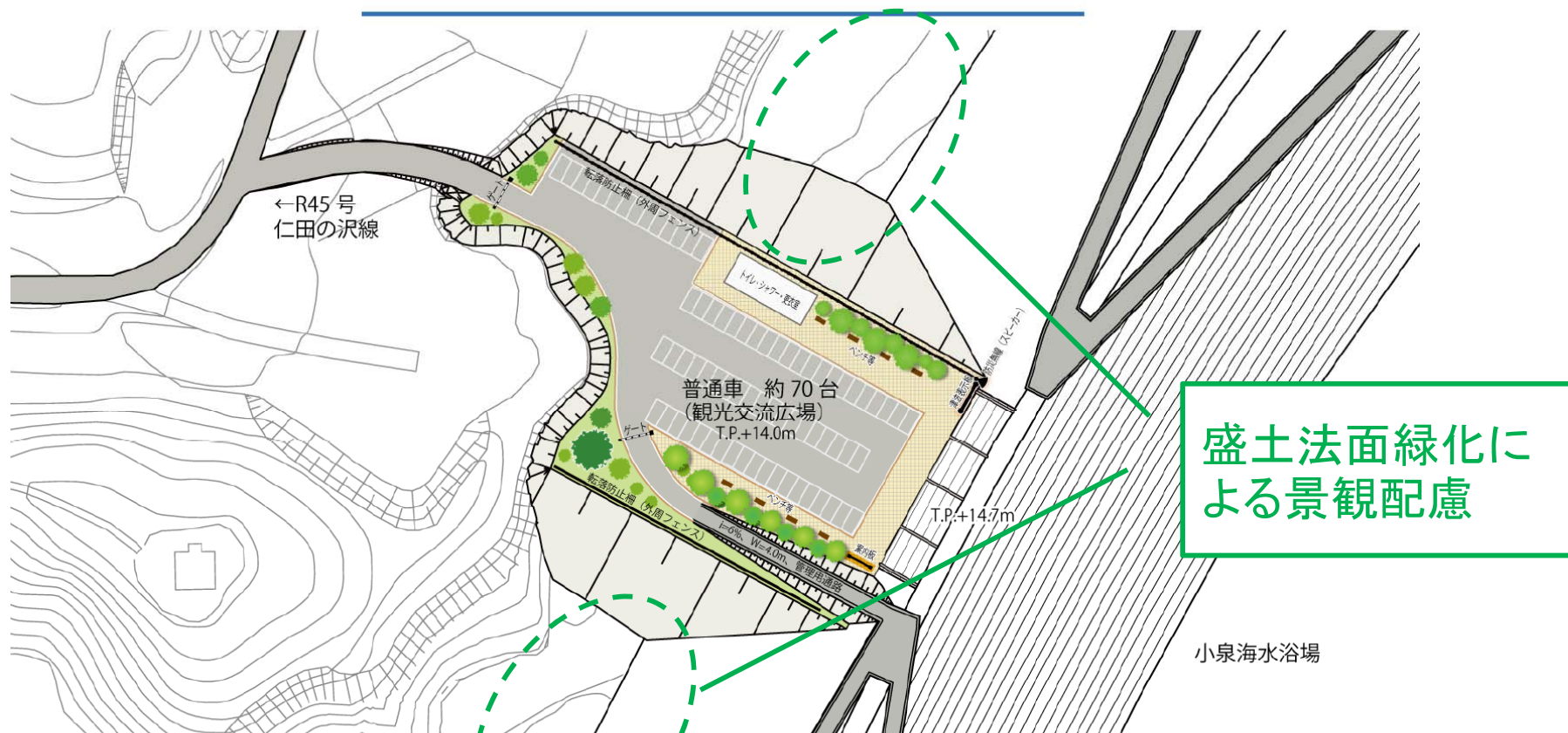
市道仁田の沢 W=7.0m



3. 海水浴場施設 整備方針（案） 施設配置

- ・被災前と同規模(約70台)の駐車場、トイレ等を整備する。
 - ・保安林事業と連携し、駐車場(盛土)と堤防が一体となった整備計画とする。
- ※駐車場敷高や施設配置計画は、検討会・WGの意見を踏まえ詳細設計(気仙沼市)で検討する。

海水浴場の整備(2) 駐車場(交流広場)構想図

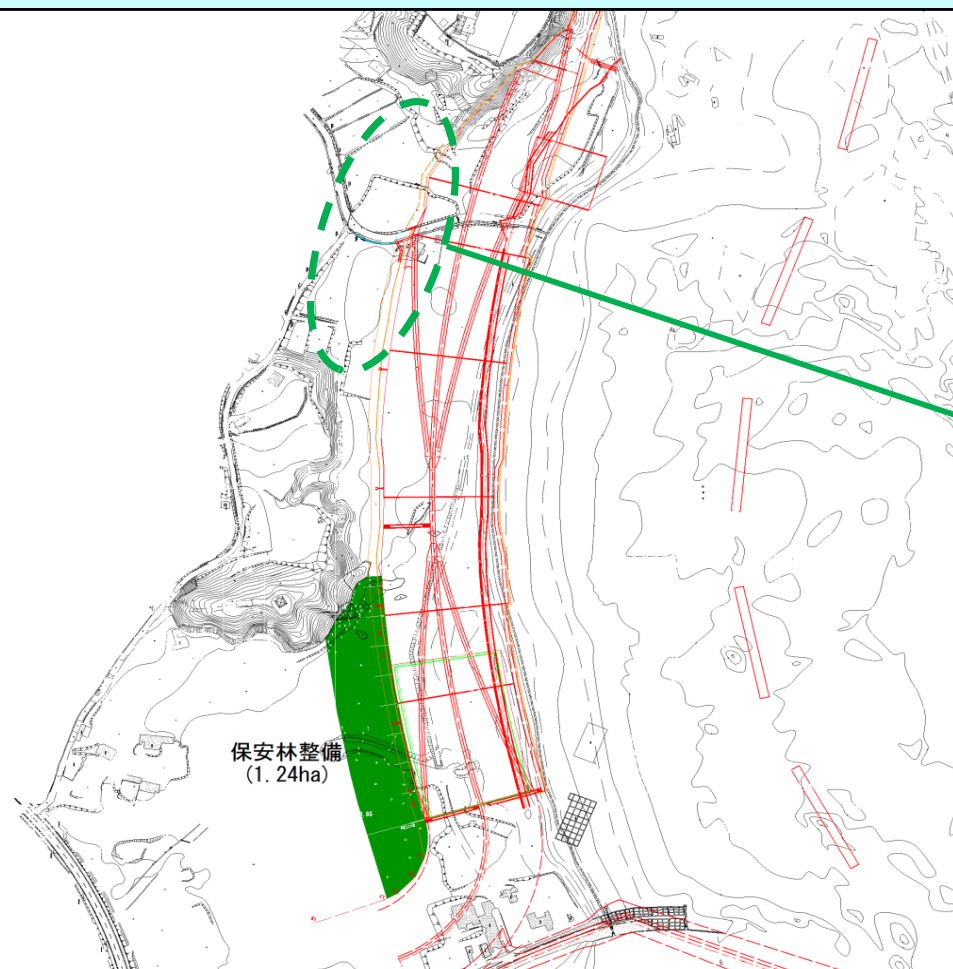


配慮事項

- ・窪地を少なくし、背後の地形と一体となった景観形成を検討する。
- ・駐車場から海が見えるような高さを防災・安全の観点も含めて検討する。
- ・観光拠点としての機能のほか、震災の記録を残すなど防災意識啓発の施設整備についても検討する。

4. 保安林整備方針（案）

- ・保安林については、林帯幅約50mとし、地下水の影響を受けないよう地下水位より2.4m程度の盛土を行い整備する。
 - ・樹種については、震災前と同様に松林を主体として整備する。
- ※事業計画(保安林部局が整備)については未確定であるため、現時点における方針を記載。



保安林の設置について検討

配慮事項

- ・松の背後には広葉樹を植える等「混合植栽」を検討する。

5. 排水に関する整備方針（案）

- ・堤内排水については降雨時に支障が出ないように復旧断面を設定して整備する。
- ・赤文字の計画位置・復旧断面を基本として詳細設計を行う。

